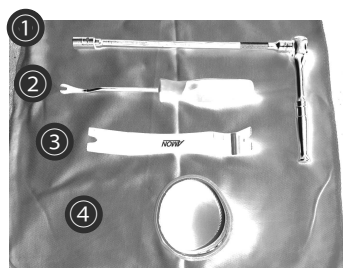


*i-Shift*er

アイ・シフター

適合車種：プリウス ZVW50
(2015年12月～)

取付けのために、以下の工具をご用意ください。



- ①ラチェット+エクステンション+12mmソケット
(純正セレクタの取外しと本製品の固定に使用します。)
- ②クリップ外し(純正ハーネスの取外しに使用します。)
- ③リムーバー(内張りはがし)(内装パネルの分解に使用します。)
- ④養生テープ(作業時に内装の傷つきを防ぎます。)

車両のグレードや年式などによりその他にも工具が必要になることがあります。
事前に作業内容と必要工具をご確認の上、作業を開始してください。

取付け所要時間：約30分

取扱説明書

はじめに

この度は、「i-Shifter」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、商品の機能、操作方法、取付け方法と使用上の注意について記載してあります。

当商品について十分にご理解いただき安全かつ効果的にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

また、使用の際にいつでもすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

なお販売、取付け、ご使用される皆様は当商品の取付けにあたり以下についてご理解ください。使用を開始された時点でご同意いただいたものといたします。

- ・商品を取付けたことによってディーラー等で正規の保証を受けられないなどの場合でも弊社では責任を負いかねます。
- ・商品は自動車メーカー純正の仕様に合わせて開発されております。改造されている車両では本来の機能を発揮できなかつたり不具合が生じることがあります。
- ・商品は、製造上の不良が確認でき、かつ設定された保障期間内である場合に限り保証いたします。
なお商品の不具合によって商品以外に何かしらの損害が生じたとしても、弊社は商品以外の責任は一切負わないものとします。
- ・商品の外観、仕様、価格等は予告なく変更する場合があります。

目次

◇はじめに	P 1
◇目次	P 1
◇安全にご使用いただくために	P 2
◇パーツリスト	P 3
操作	
◇機能と特徴	P 3
・シフトポジションの変更方法	P 4
・純正の仕様を改善する機能	P 5
・純正の仕様を維持する機能	P 6
取付け	
◇取付け時の注意事項	P 7
◇純正シフトセレクタの取外し	P 8
・センターコンソール周りパネルの分解	P 8
・純正シフトセレクタの取外し	P 11
◇i-Shifterの取付け	P 13
・i-Shifter本体の仮固定	P 13
・シフトコネクタの接続	P 13
・OBD2コネクタの接続	P 13
・センターコンソールの取付け	P 14
・i-Shifterの中心調整、本締め	P 15
・パネル類の取付け	P 16
トラブルシューティング・その他	
◇警告が表示されたときは	P 18
◇警告の消し方	P 19
◇トラブルシューティング	P 20
◇保証書	P 22

安全にご使用いただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人の財産や身体への損害を未然に防ぎ、本製品を安全かつ効果的にご使用いただくために守っていただきたい事項をマークと共に記載しています。

必ずこの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用ください。

本書中で使用されているマークと、その意味は下記のようになっています。



危険

財産や身体に重大な被害が発生する恐れがあるもの。



注意

車両や製品の破損および故障等を引き起こす恐れがあるもの。



重要

本製品を使用するにあたって必ず知っておいていただきたいこと。

一般注意事項



注意

本製品の分解や改造は絶対にしないでください。本体の故障や破損の原因となります。お客様が分解や改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

製品保証書(本取扱説明書裏表紙)は販売店および指定事項をご記入の上、大切に保管してください。また、修理の際には保証書を必ず添付してください。記入もれや販売店の記入がない時は有償となる場合がございます。

製品に強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。取付け時等の落下にご注意ください。

本製品に故障または異常があった場合は、ただちに使用を中止して販売店または弊社までご連絡ください。

本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

本製品を取付けた車両を他の人に貸出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

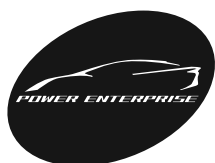
パーツリスト



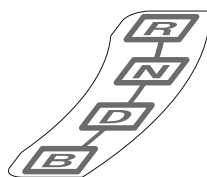
i-Shifter 本体 ×1



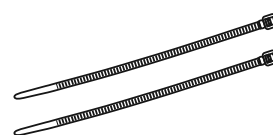
取扱説明書(本書) ×1



ダイヤルステッカー ×1



シフトパタンステッカー ×1



タイラップ ×2

ダイヤルステッカーとシフトパタンステッカーは、作業の最後(動作確認後)にお好みに貼ってください。

機能・特徴

イグニッションスイッチに連動して操作ダイヤルがリフトアップ



リフトアップ時

イグニッション ON または
ハイブリッドシステム ON(走行時)



リフトストローク
: 約 14mm



格納時

イグニッション OFF または
アクセサリ ON



注意

ダイヤルのリフト動作中は無理矢理押さえたり異物を挟んだりなど、動作を妨げないように注意してください。故障の原因になります。

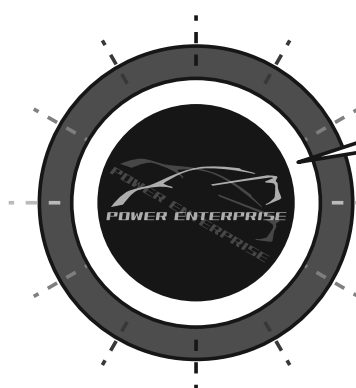


重要

イグニッションOFF(またはアクセサリON)から格納をはじめるまでに数秒～十数秒かかります。
これは純正のシステムチェックが作動するためであり、正常な動作です。

機能・特徴

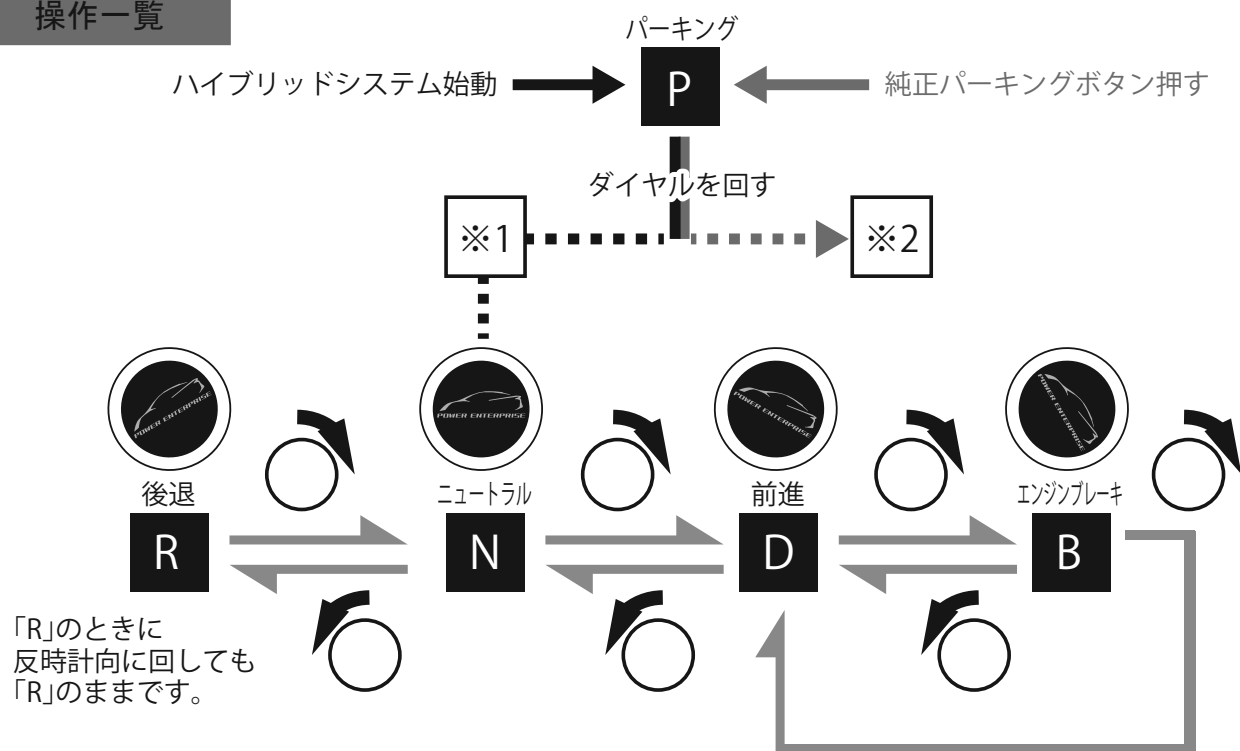
ダイヤル式シフトセクター



時計回り / 反時計回りどちらにも 360° 回転します。

30° ごとにカチッというクリック感があり、1クリックごとに下図のようにシフトチェンジします。

操作一覧



※1 エンジン始動時の「P」は「N」に相当します。
→時計向で「D」、反時計向で「R」になります。

※2 ドライバーによって「P」が押されたときは、押す前のポジションがメモリされます。
例・・・「D」のときに「P」にした場合 →反時計向で「N」、時計向で「B」になります。



「R」のときにすばやく2クリック時計向に回すと、「N」を飛ばして「D」にシフトチェンジできます。「D」から「R」も同様に可能です。

上図のダイヤル向きは始動時にロゴが水平のときの例です。実際の向きは始動時の状態によって異なります。

どのような向きでも使用に支障はありませんが、気になる場合はイグニッションOFFのときに向きを修正してください。

機能・特徴

純正の仕様から改善される機能

以下の機能は、i-Shifter の装着により改善されます。

純正

D ポジション以外から一気に B ポジションにしようとする。



ピピッというエラー音がし、パーキング（場合により N ポジション）になる。一度 D ポジションにしないでという警告がセンターディスプレイに表示。

i-Shifter

D ポジション以外から一気に B ポジションにしようとする。



約 0.5 秒後に B ポジションになる。

純正

レバーを N の位置で約1秒ホールドする。



N ポジションになる。

i-Shifter

ダイヤルを操作し N ポジションにする。



約1秒後に N ポジションになる。（ホールド不要）

機能・特徴

純正の仕様が維持される機能

以下の仕様は、安全のため i-Shifter 装着後も純正同様に機能します。

パーキング (P) のときに、ブレーキペダルを踏まずにセレクタを操作する。

パーキング (P) から B ポジションにしようとする。



ピピッというエラー音がし、パーキングのまま変わらない。
原因または対策はセンターディスプレイに表示。

前進中 (徐行を除く) に R ポジションにしようとする。

後退中 (徐行を除く) に D ポジションにしようとする。

N ポジションまたは R ポジションから B ポジションにしようとする。

イグニッション ON (ハイブリッドシステム OFF) のときにセレクタを操作する。



ピピッというエラー音がし、N ポジションになる。
原因または対策はセンターディスプレイに表示。



重要

その他、補機バッテリー(12Vバッテリー)容量の低下時にパーキング(P)にできないなど、純正のシステム上でさまざまな制限が発生する可能性があります。このような、記載以外の動作についても全て純正の動作に準じます。

取付け方法

公式ウェブサイトでは取付けの様子を動画で公開していますので参考にしてください。

http://www.power-enterprise.co.jp/electronic/i_shifter/

取付け時の注意事項



危険

適合車種以外の車両に取付けないでください。走行に支障が生じるような不具合が生じたり、車両を破損させる可能性があります。

適切な知識と工具を持つ人が取付けを行ってください。誤った取付けは車両が動かないなどの重大なトラブルの原因となります。

純正シフトセレクトの取外し



危険

取付け作業は、平坦かつ他の人や車の交通の妨げにならない場所で行ってください。



注意

イグニッションOFF(メーターやオーディオ類が全て電源OFF)の状態で10分ほど経過してから取付け作業を開始してください。また作業中はアクセサリ電源ONやイグニッションONにしないでください。エンジンチェックランプが点灯するなどの恐れがあります。

化粧パネルやカバー類の脱着の際には、周りに傷が付かないように適宜養生テープなどで保護をしてください。

- ① シフトノブを反時計回りに回して取外します。



取付け方法

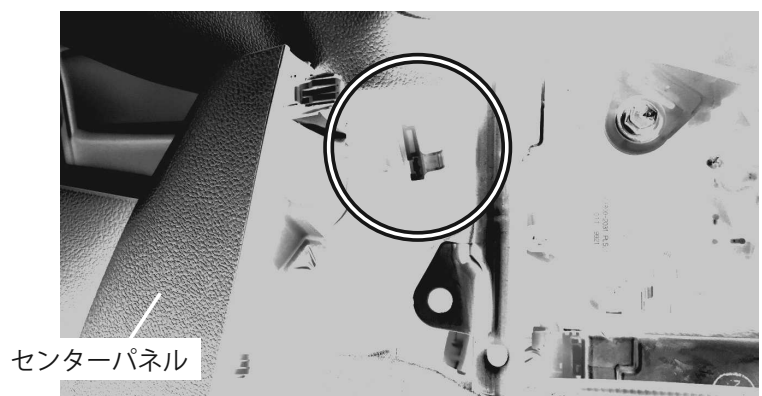
- ② センターパネルの助手席側を矢印の方向に引っ張り、サイドパネルから分離します。



- ③ 助手席側のサイドパネルを矢印の方向に引っ張り取外します。



- ④ 運転席側のサイドから覗き込み、クリップ外しを使用してハーネスクリップ(右図丸印)をフレームから取外す。



ハーネスクリップを取外してハーネスをフリーにする。

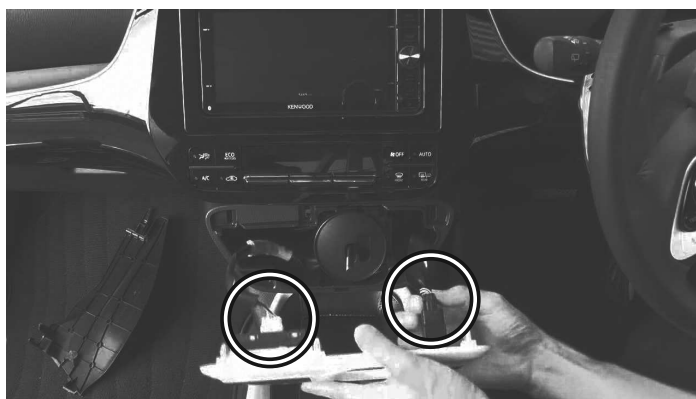
取付け方法

- ⑤ リムーバー（内張り外し）を使用してシフトパネルを浮かせ、そのまま手前に引っ張ってパネルを外します。



指で手前に引っ張ってすき間を作り、リムーバーを差込む。

- ⑥ パネル裏のコネクタ2ヶ所（右図丸印）を取外します。



重要

ハーネスが突っ張ってパネルが手前に引き出せないときは、④の作業が上手くできていません。無理に引っ張らずクリップがちゃんと外れているか確認してください。コネクタを取外すとき、ハーネスを引っ張らずに必ずコネクタ本体を掴んでください。ハーネスを引っ張ると断線する恐れがあります。

取付け方法

- ⑦ 運転席の足元パネルのセンターコンソール側だけ手前に引っ張り分離します。
※パネルは浮かせるだけで、取外す必要はありません。



- ⑧ センターコンソールの助手席側を手前に引っ張り分離します。



- ⑨ センターコンソールの運転席側を右図のように手を添えて手前に引っ張り分離します。



- ⑩ センターパネルを避けながら、センターコンソールを取外します。

取付け方法

- ⑪ クリップ外しを使用し、純正シフトセレクトに固定されているハーネスクリップ(右図丸印)を取外します。

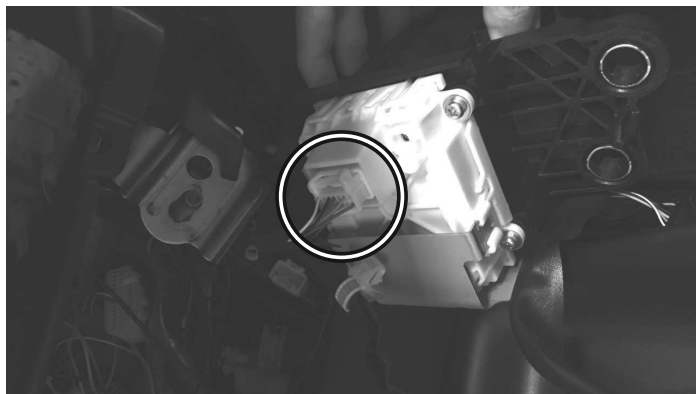


- ⑫ ラチェット +12mm ソケットを使用し、純正シフトセレクトを固定しているナット3ヶ所(右図および右下図の丸印)を取外します。



取付け方法

- ⑬ 純正シフトセレクタをゆっくり引き出し、セレクタ裏側のコネクタを(右図丸印)取外します。



以上で純正部品の取り外しは完了です。
(右図の状態)



重要

取外した純正シフトセレクタとシフトノブは、いつでも元に戻せるように大切に保管してください。

取付け方法

i-Shifterの取付け

本書ではあらかじめダイヤルステッカーを貼っていますが、作業の最後に貼る方が水平を確認しやすくお勧めです。

- ① i-Shifter を純正スタッドボルトの3ヶ所に通し、純正ナットで仮固定します。




注意

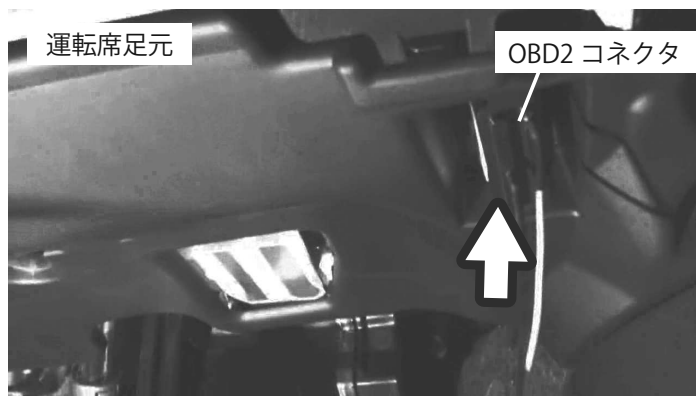
i-Shifterと車両フレームの間にケーブルが挟まらないように注意してください。



- ② i-Shifter のコネクタ (白) と純正セレクタのコネクタを接続します。



- ③ i-Shifter の OBD コネクタ (黒) を、センターコンソール奥→運転席足元パネルの裏と取り回し、適所にタイラップで固定します (下記  を参照)。



- ④ 車両の OBD 診断コネクタに接続します。



注意

i-Shifterのケーブルはリフトアップ/ダウンに伴い約15mm伸縮します。そのため、i-Shifterのすぐ後ろではケーブルをフレームなどに固定せずたるみを持たせてください。

※次ページにも注意が続きます。

取付け方法

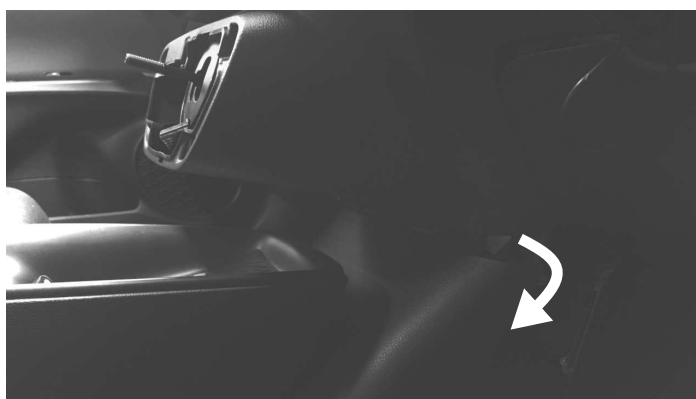


ハンドルシャフトやペダルなど、可動部や運転の妨げになるところにケーブルを通したり固定することは危険ですのでおやめください。



OBD2コネクタをすでに別の機器で使用している場合は、専用の分岐コネクタなどを使用してください。

- ⑤ センターコンソールを、センターパネルを避けながら元の位置に当てます。

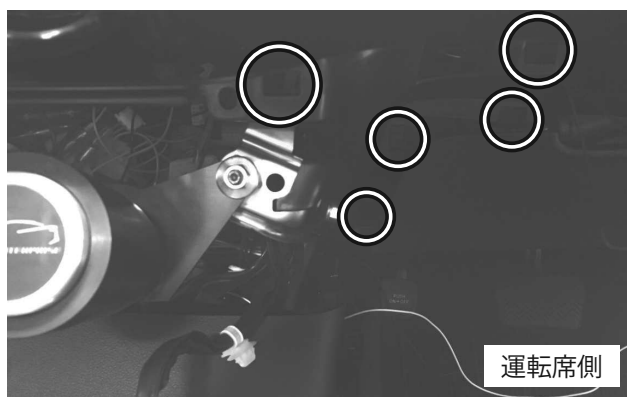


コンソールの下端をセンターパネルの裏側にくぐらせる。

- ⑥ ツメと車両の穴位置を確認しながら、助手席側→運転席側の順ではめ込みます。



車両の穴位置は下図の丸印を参照してください。

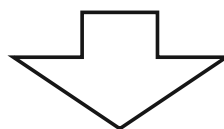


取付け方法

- ⑦ シフトパネルの裏側にコネクタ 2ヶ所を元通り接続します。



- ⑧ シフトパネルをセンターパネルに取り付け、i-Shifter の中心位置を確認します。



中心位置が合うまで、パネルを外して i-Shifter の位置を調整する。

- ⑨ ずれている場合はシフトパネルをもう一度取外して i-Shifter の位置を調整します。



取付け方法

- ⑩ i-Shifter の中心が確定したら、固定ナット3ヶ所を本締めします。

締付けトルク：15 N・m(1.5kgf・m)

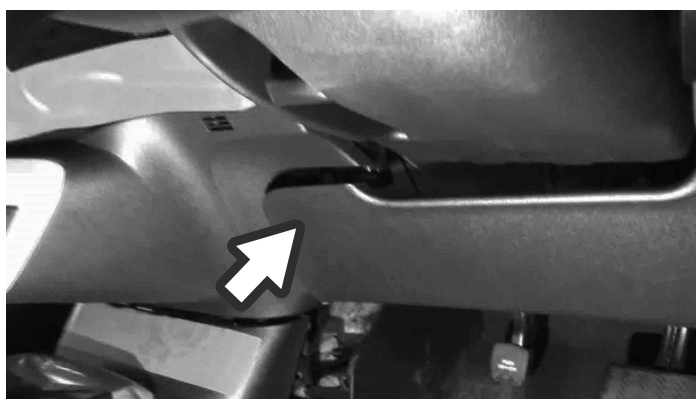


製品が変形または破損する恐れがありますので、強く締めすぎないように注意してください。

- ⑪ シフトパネルをセンターコンソールに取付けます。



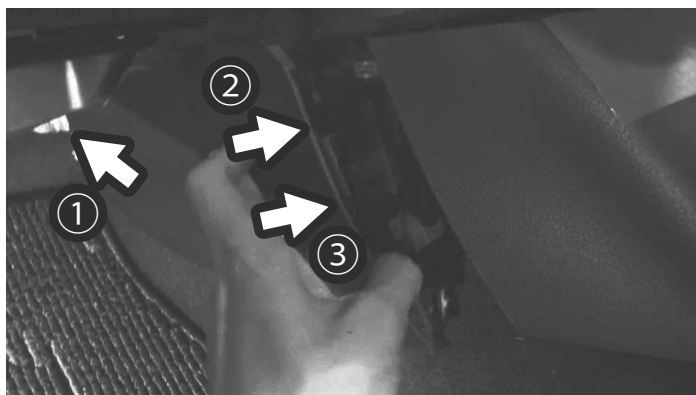
- ⑫ 運転席足元上のパネルを元通りはめ込みます。



パネルを矢印方向に押しはめ込む。

取付け方法

- ⑬ 助手席側センターサイドパネルを元通り取付けます。
奥側は穴に差し込むだけ、手前は金属フレームへのフック+プッシュロックです。



①突起を差し込む → ②フックを金属フレームに掛ける
→ ③プッシュロックを差込む

- ⑭ 運転席側センターサイドパネルを元通り取付けます。
助手席側と同様にフック+プッシュロックです。



①フックを金属フレームに掛ける
→ ②プッシュロックを差込む

- ⑮ センターアンダーパネルを元通り取付けます。
左右それぞれツメが2ヶ所ずつ、計4ヶ所です。



助手席側も同様に押し込みます。

以上で取付け完了です。
ハイブリッドシステムを始動して、シフトポジションの切替えができることを確認してください。

トラブルシューティング

警告が表示されたときは

下記および次ページの4種類の警告内容と症状の中から、最も近いものに従って対策してください。



重要

補機バッテリー(12Vバッテリー)の容量が低下している場合も、似た症状が発生することがあります。疑わしい場合はバッテリーを点検してください。

当製品の診断コネクタ(OBDコネクタ)の接続は操作部のリフトアップと照明にのみ関係し、シフトの制御系には影響しません。接続を忘れてしまったとしても警告の原因とはなりません。

症状

シフト操作ができない。(状況によりハイブリッドシステムがONにならないことも)

警告

シフト系故障
安全な場所に停車して
取扱書を確認

LDA 故障
販売店で点検してください

故障のため
ブレーキ力が低下します
販売店で点検してください

※3つの警告が順番に繰り返し表示されます。

対策

純正シフトセレクタのコネクタを i-Shifter にしっかりと接続する。(P13 参照)

症状

ハイブリッドシステムがONにならず走行できない。

警告

ハイブリッドシステム故障
販売店で点検してください

ブリクラッシュセーフティ
故障
販売店で点検してください



※2つの警告が交互に繰り返し表示され、警告灯は一定間隔で点滅し続けます。

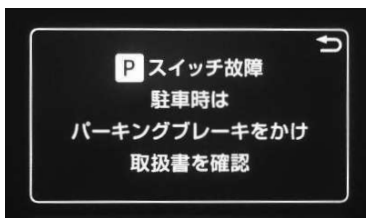
対策

純正モード切替スイッチ(シフトパネル左側の3連スイッチ)のコネクタの接続を確認する。(P15 参照)

トラブルシューティング

症状 パーキングスイッチの反応がない。

警告



対策 純正パーキングスイッチ（シフトパネル右側）のコネクタの接続を確認する。
(P15 参照)

症状 警告が表示されるが、走行や各操作には支障が見られない。

警告 省略（前ページおよび当ページの各警告画像を参照）

対策 作業中に誤ってイグニッション ON にした後など、履歴として表示されます。
この場合には車両をしばらく使用していると警告が表示されなくなります。
すぐに消したい場合は下記の方法をお試しください。

- ① イグニッション ON(1～2分待つ)⇔イグニッション OFF(1～2分待つ)を3回ほど繰り返してください。
- ② イグニッション OFF の状態で 30 分ほど置いてください。
- ③ イグニッション ON にして警告が表示されないことを確認してください。



注意

警告が消えてもしばらくは慎重に様子を観察してください。

一度警告が消えても再度表示される場合は、取付けその他にトラブルが残っています。使用を中止して確認を行ってください。



重要

上記の消し方は純正車両メーカーの正式な手順とは異なります。
記載されている回数や時間は目安です。

警告が消えた後でも、ディーラー等で診断を受けると異常ありと検出されることがあります。それは履歴に残ったものであり現在は解消していますのでご安心ください。

トラブルシューティング

本製品を使用中に何らかのトラブルが生じた場合には、製品の故障と思う前に以下のトラブルシューティングに従って対策を行なってみてください。トラブルシューティングに従っても問題が解決されない場合や、以下に示されている内容以外の特異なトラブルが発生した場合には、すぐに使用を中止して販売店にご相談ください。



操作ダイヤルがリフトアップしない。
照明が点灯しない。



まず最初にOBD2コネクタ(診断コネクタ)が抜けていないかを確認し、問題なければ次にヒューズを確認してください。
OBD2コネクタからたくさんの電子機器への電源供給を行っている場合、ヒューズの許容量を超えてしまう可能性があります。



i-Shiftの裏側のモーターのシャフトやケーブルが純正部品などに接触していないか確認してください。
またi-Shifterのケーブルはリフトアップ/ダウンで伸縮しますので、たるみを持たせてください。



操作ダイヤルを回したのにポジションが変わらない。
または意図と異なるポジションになる。



ダイヤルを早く回しすぎると、回転を認識しなかったり逆回転と認識したりするなど、正しい向きとクリック数を認識できません。



Rポジションのときに反時計向きに回してもシフトはRポジションのまま切替りません。



ブレーキペダルを踏まずに操作したり前進中にRポジションにするなどの危険な操作は純正同様に無効となります。詳しくはP6をご覧ください。



純正同様、D、BまたはRポジションにするにはハイブリッドシステムを始動する必要があります。詳しくはP6をご覧ください。



ダイヤルを操作してからポジションが切替るまでに時間差がある。



Nポジションはダイヤル操作の約1秒後、Bポジションはダイヤル操作の約0.5秒後に切替ります。詳しくはP5をご覧ください。

トラブルシューティング



製品から異音がする。



ダイヤルが格納しきったときにモーターのうなり音が少し出ることがありますが、これはゼロ点調整のためであり異常ではありません。



ダイヤルのリフトアップまたは格納中にずっと擦るような音や金属音などがするときは、異物をかみ込んでいる可能性があります。使用を中止して点検してください。



ダイヤルを回転させたときにずっと擦るような音や金属音などがするときは、異物をかみ込んでいる可能性があります。使用を中止して点検してください。



操作ダイヤルが格納時に少し飛び出ている。



ダイヤルの格納動作中にダイヤルを引っ張ったり異物が挟まったりすると、格納しきれずに停止します。まずは原因を取り除いてください。



特に動作を妨害するものがなければ、ダイヤルを数回上下させることで正常な位置に戻ります。



操作ダイヤルが熱くなる。/冷たくなる。



操作ダイヤルのアルミ素材(金属)は、ゴム・皮・プラスチックなどよりも温まりやすく冷めやすい性質です。そのため触れたときに熱く(冷たく)感じる場合があります。



ダイヤルに直射日光が当たる場所に車両を停めるときは、布などで日光を遮ってください。

製品保証書

品名	i-Shifter (アイ・シフター)		
お買上げ年月日	年	月	日
保証期間	3 年 間		

お客様 様

ご住所 _____

電 話 _____

お名前 _____

様

販売店

店 名

住 所

電 話

本保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、販売店または当社に修理をお申し付けください。
この保証書は本書に明示した期間、下記の規定のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社までお問い合わせください。

- ・商品の不具合によって商品以外に何かしらの損害が生じたとしても、弊社は商品以外の責任は一切負わないものとします。
- ・保証規定は予告なく改定されることがあります。

無料修理規定

This warranty is valid only in Japan.
(日本国内のみ有効)

1. 取扱説明書などに従った正常な使用状態で故障した場合には、当社は商品を無料で修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げ販売店または、当社に商品と本保証書を一緒にお申し付けください。
3. 保証期間内であっても以下の場合は保証の対象となりません。
 - ①本保証書のご提示がない場合。
 - ②保証書内の記入事項に未記入がある場合、または本書の字句が書き替えられた場合。
 - ③保証書に記載されている方がご使用者と異なる場合。
 - ④ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損。
 - ④当社側に起因する原因であることが明確でない場合。
 - ④使用中に生じたキズなど、外観上の変化や経年劣化。
 - ④お買上げ後の輸送、落下などによる故障および破損。
 - ⑤地震、落雷、水害その他の天変地異、事故や異常電圧による故障および破損。
4. 本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

i-Shifter

アイ・シフター

発行：2016年08月 無断転写・複写を禁じます。



パワーエンタープライズ(株)
〒416-0948 静岡県富士市森島197-3
TEL:0545-30-9111 FAX:0545-30-9112
<http://www.power-enterprise.co.jp/>